

OS と Starter Pack の対応 (NX7700x/A8010E-2, A8010E-2c, A8012M-2 向け)

対象モデル名	対象型番
A8010E-2	NE3300-271Y/-272Y
A8010E-2c	NE3300-274Y/-275Y
A8012M-2	NE3300-521Y/-522Y/-522L

OS と Starter Pack について

NX7700x/A8010E-2, A8010E-2c, A8012M-2(以下「サーバ」)は、Starter Pack のバージョンによってサポート可能な OS が変わります。今後、Starter Pack のリリースに伴い、本書も更新いたしますので、リリースサーバーの安定稼働のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。

OS インストール準備および Starter Pack の適用

OS インストール準備

1. 「1 OS と Starter Pack 対応表」
インストールする OS に適合する Starter Pack バージョンを確認します。
2. 「2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認」
サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。
工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外の場合(使用 OS を変更する)で手順が異なります。

Starter Pack の適用

3. 「3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用」
手順 2 で確認したバージョンの Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。
ただし、既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。手順 4 に進んでください。
4. 「4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用」
OS の種別(Red Hat Enterprise Linux / VMware ESXi/ESX /Windows Server)毎に手順が異なります。
インストールする OS に合わせて手順を参照してください。

1 OS と Starter Pack 対応表

Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。
下記の表から、利用 OS に対応した Starter Pack を確認してください。
モデルによりサポート OS が異なります。詳細は下記 URL をご参照ください
URL: <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/index.html>
→OS サポート情報

対応 OS	Starter Pack バージョン	
	S8.80-007.01	S8.80-007.02
Windows Server	2022	✓
	2025	✓
VMware ESXi/ESX ※3	8.0 update 3 ※2	✓
	9.0	✓
Red Hat Enterprise Linux	9.6	✓

※1 サポート対象バージョンは ESXi 8.0 update 3e(Build 24674464)以降です。

※2 「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定される場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報のクリアや、保守対応時に必要となります。

(*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options> Advanced Trusted

Platform Module Options > TPM Visibility

(*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation

Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESXi 構成の管理 - セキュアな

構成のリカバリ)をご確認ください。

- ESXi 8.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/8-0/vsphere-security-8-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

- ESX 9.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-0/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

補足事項

- サーバ(N 型番)および Starter Pack 製品(UL 型番)は、ご注文時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER が適用、収録され出荷されます。過去のバージョンの Starter Pack は、NEC Web サイトよりダウンロードしてください。
サーバの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。
ダウンロード先: https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a801x.html

2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認

サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外で手順が異なります。

- 工場出荷後に初めて OS をインストールする場合は、A.1 に進みます。
- それ以外の場合
 - OS をクリーンインストールする場合は、B.1 に進みます。
 - OS をインプレースアップグレードする場合は、担当の NEC 営業へお問い合わせください。

A.1 別紙「本体装置出荷時に適用された Starter Pack バージョンの判別方法」を参照して、本体装置出荷時に適用されている各種ファームウェアバージョンから Starter Pack バージョンを判別してください。

尚、複数の Starter Pack バージョンに一致する場合があります。その場合は、一致する複数の Starter Pack バージョンに適合していることとなります。

別紙掲載 URL:

<https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a801x.html>

A.2 手順 A.1 で確認したバージョンと手順 1「**1 OS と Starter Pack 対応表**」で確認したバージョンの内 OS がサポートする最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

B.1 手順 1「**1 OS と Starter Pack 対応表**」で確認したバージョンの内 OS がサポートする最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用

既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。
手順 4「**4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用**」に進んでください。

それ以外は、手順 2「**2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認**」で確認した Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。

Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って適用してください。

Starter Pack 掲載 URL: https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a801x.html

4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用

OS の種別毎に手順が異なります。インストールする OS に合わせて手順を参照してください。

OS に対応する説明書は、「OS と説明書の対応表」を参照してください。

- Red Hat Enterprise Linux の場合は、インストレーションガイド(Linux 編)と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。
- VMware ESXi/ESX の場合は、仮想化環境準備項目一覧と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。
- Windows Server の場合は、Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。

OS と説明書の対応表

対象 OS		説明書			
		本書	インストレーションガイド (Linux 編)	仮想化環境準備項目一覧	インストレーションガイド (Windows 編)
Red Hat Enterprise Linux	9.6	✓	✓		
VMware ESXi/ESX ※3	8.0 update 3 ※2	✓		✓	
	9.0	✓		✓	
Windows Server	2022	✓			✓
	2025	✓			✓

※1 サポート対象バージョンは ESXi 8.0 update 3e(Build 24674464)以降です。

※2 「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定される場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報のクリアや、保守対応時に必要となります。

(*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options> Advanced Trusted

Platform Module Options > TPM Visibility

(*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation

Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESXi 構成の管理 - セキュアな ESXi

構成のリカバリ)をご確認ください。

- ESXi 8.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/8-0/vsphere-security-8-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

- ESX 9.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-0/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

各説明書は下記より入手してください。

- インストールガイド(Linux 編) : <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a801x.html>
- 仮想化環境準備項目一覧 : <https://jpn.nec.com/nx7700x/support>
- インストールガイド(Windows 編) :
Starter Pack 掲載 URL からサーバに適用されている Starter Pack バージョンと同じバージョンを選択し、掲載されているインストールガイドを入手してください。
Starter Pack 掲載 URL : https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a801x.html

(参考) iLO7 のファームウェアバージョン確認方法

iLO7 ファームウェアのバージョンを確認する方法は下記 3 通りあります。いずれかを実施します。

- サーバの System Health Summary 画面で確認する方法
 1. サーバにディスプレイとキーボードを接続してください。
 2. サーバの AC 電源を ON にしてください。
 3. [Server Health Summary]画面を表示するため、サーバ前面の UID ボタンを押し、UID をオンにします。
注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。
 4. サーバが接続されたディスプレイ上に[Server Health Summary]画面が表示されます。画面上に表示される『iLO Firmware』の項から、iLO ファームウェアのバージョンを確認してください。
 5. [Server Health Summary]画面を閉じるため、サーバ前面の UID ボタンを押し、UID をオフにします
注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。
- サーバのローカルコンソールで確認する方法
 1. サーバの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
 2. サーバにディスプレイとキーボードを接続します。
 3. サーバの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
 4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → Firmware Information」を選択します。
 5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO Firmware」→ iLO7 ファームウェアのバージョン
 6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。
- iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法
 1. iLO7 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
 2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
 3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
 4. iLO Web インターフェース画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです
 - 画面の「iLO7」→ iLO7 ファームウェアのバージョン
 5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェース画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェースの操作方法は、iLO7 ユーザーズガイドを参照します。

(参考) 監視・管理サーバのソフトウェアバージョン

本モデルを他の管理 PC(サーバでも代替可)で管理する場合、管理 PC の管理ソフトウェアが本モデルを管理できるバージョンか(本モデルを管理対象としてサポートしているか)確認してください。ESMPRO/ServerManager を利用する場合、管理 PC の ESMPRO/ServerManager をアップデートしなければならない場合があります。下記の Web サイトから最新版をダウンロードし、インストールしてください。

ESMPRO/ServerManager ダウンロード

<http://jpn.nec.com/esmsm/download.html>

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.7(Windows)

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.6(Windows)